

江北町立江北小学校だより No. 9

令和元年8月9日 文責:熊本輝美

23学級 566名 電話86-2251 mail:kohoku-e@mail.saga-ed.jp

「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 江北の子の育成」

- 1 自分で考え行動します。
- 2 相手の気持ちを考えます。
- 3 決まりを守ります。



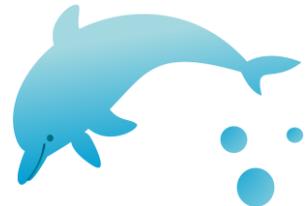
暑中お見舞い申し上げます。

暑い毎日が続いていますが、お元気でおすごしのことと思います。

保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、子どもたちは夏休みを元気に過ごしているようです。ありがとうございます。

夏休みのそろそろ折り返しとなりますが、**事故なく、けがなく、病気なく、元気に**過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様も今後ご指導よろしくお願いいたします。



☆ 全校登校日・平和集会 ☆

本日は、**全校登校日**でした。**74年前の8月6日広島に、そして、本日8月9日には、長崎に原子爆弾が落とされました。**尊い命が一瞬のうちに失われ、その後も多くの方が原爆に苦しめられ、亡くなられていきました。また、直接被爆したわけではない被爆2世、3世・・・も、原爆の恐怖を背負いながら過ごしていらっしゃいます。

平和は、誰もが願っていることです。思いだけでなく、平和のために自分ができることを考え、実践していくことが大切でしょう。**小さな事でもみんなが**そうすることによって**平和への大きな力へ**となると思います。

学校でも、本日、平和集会を行いました。また、**11:02に合わせて、全校黙祷**を行いました。平和集会の様子等は、次号でお知らせします。

今日は、お子様から平和集会での内容を聞かれ、**ご家族で平和について、話し合われては**いかがでしょうか。

☆ 江北町子どもまつり ☆

8月4日(日) 9:00~12:30 江北町子どもまつりが江北町老人福祉センターで行われ、各クラス3名、計9名の6年生が「平和を願って」として発表してくれました。私は、この日、福岡で研修会があり参加できませんでしたので、学校でのリハーサルを見せてもらいました。みんな一生懸命に練習し頑張っていました。



☆ 水泳教室 ☆

7月22日~24日の3日間、**水泳教室**を計画しておりましたが、22日は大雨警報が発令され実施できませんでした。2日間ではありましたが、子どもたちは、

少人数で担当の先生に指導を受け、上達していました。「**やればできる!**」という**自信**もついたのでないかと思います。

☆個人面談☆

予備日も含め7月22日～26日に個人面談を行いました。1学期の学校での様子をお伝えしたり、ご家庭での様子を教えていただいたりしながら、共通理解をして、今後の指導に活かすことができます。時間をつくっていただき、ありがとうございました。

☆カメの卵☆

学校の水槽で飼っている**カメ**が産卵していました。用務の坂井平先生が砂を盛って卵を保護してくださっています。うまく誕生できるといいのですが・・・。



～フレイクタイム～ 原爆に思う

原爆と聞くと、胸が締め付けられるような気持ちになります。それは、2つのことを思い出すからです。

一つは、**私の父のこと**です。父は、**昭和20年、長崎市平和町27番地**（爆心地のすぐ近くです。）に住んでいました。祖父が仕事で眼を負傷し、戦況もよくないということで**諫早に疎開**をしたのです。それは**原爆が投下されるほんの少し前**だったそうです。当時、父は9歳、川で遊んでいる時に、ピカッと閃光を見たと言っていました。親戚は、まだ長崎市に住んでいましたので、その数日後、祖父と一緒に親戚を探しに出かけたそうです。しかし、**そこは地獄絵のよう**で人や馬が黒こげになり、すごい臭いがしたと言います。もちろん、親戚は見つかりませんでした。きっと、**何が起きたか分からないままに命を落とした**のでしょう。そう思うと悲しく辛い気持ちでいっぱいになります。父も亡くなり既に20年以上が経ちます。すぐ現地に入った父は、入市被爆をしていたのではと思うこともあります。

二つ目は、**中学一年の時の担任の先生のこと**です。いつも優しく穏やかな口調で国語の授業をされていました。一年生の時は、「羅生門」の朗読をして下さったのを覚えています。三年になった時、教頭先生になられました。国語の時間、いつものように穏やかに話をされながら板書されていたが、**突然ぐらっと倒れそう**になり、「座っていいかな。」と座って授業を続けられていたのです。しかし、次は、**ぼたりと机に倒れられ、意識がなくなられた**のです。私達は、すぐに職員室に知らせ、先生は救急車で運ばれました。**先生は、被爆者**でした。首の所から背中にかけて**ケロイド**があられ、自分自身の**被爆体験**と共に**被爆2世のお子さんを心配**されていることをお聞きしていました。倒れられた原因は、**被爆で脳に腫瘍ができていた**とのことでした。戦後随分たっているのに、**まだまだ戦争で苦しめられている人がいることを実感したと同時に怒りを覚えた**ものです。



これからを生きる子どもたちのために、平和な世界を祈りつくっていきたいと思います。

